

千葉県 農林水産業の概要

特徴・取組

千葉県は、三方を海に囲まれ、温暖な気候と豊かな自然環境、大消費地である首都圏に位置するという有利な立地条件の下にある。

京葉臨海地域では、石油精製・石油化学・鉄鋼など。成田周辺地域には空港関連産業・国際物流産業。幕張新都心には、幕張メッセやオフィス、商業施設など。農業では令和元年の農業産出額が全国第4位。ほかに研究施設や観光産業など地域ごとに多様な特色を持ち、農業・商業・工業いずれも全国トップクラスであり、バランスのとれた産業構造となっている。

農業産出額は、園芸（野菜、果実、花き）が県全体の4割を占め、次いで畜産が3割、米が2割の順となっている。

農産物の収穫量は、らっかせい、かぶ、ねぎなど全国第1位の品目が多数ある。

また、農林水産物直売所の数が全国第1位。いちご狩りなど都市と農村の交流活動も盛んである。

水産業も、全国有数の水揚げのある銚子漁港をはじめとする多くの漁港があり、すずき類、このしらの漁獲量が全国第1位となっている。

千葉県では、農林水産物の販売力を強化するため、県オリジナル品種（らっかせい「Qなっつ」、米「粒すけ」）の育成や、県ウェブサイト「教えてちばの恵み」を活用した魅力発信等により、県産農林水産物のイメージアップや需要拡大に取り組んでいる。また、輸出については、東南アジア地域を中心にプロモーションを進めるとともに、輸出に取り組む生産者団体・事業者の支援を進めている。

水田農業については、需要に応じた米生産と併せて、飼料用米やWCS用稲等の転作作物の取組をさらに拡大し、水田をフル活用した水田農業経営の確立に取り組んでいる。

6次産業化については、「千葉県6次産業化サポートセンター」を核としたワンストップ支援体制の整備、人材の育成などに取り組んでいる。

主な農林水産物

らっかせい

主産地の八街（やちまた）市のほか県内各地で生産され、全国の収穫量の約8割を占めている。

（収穫量全国1位）



かぶ

柏市、東庄（とうのしょう）町、松戸市などが主産地で、12月から5月が旬である。

（収穫量全国1位）



ほうれんそう

柏市、船橋市、野田市など都市近郊地帯での栽培が盛んである。

（収穫量全国3位）



しゅんぎく

旭市、野田市などが主産地で、12月から2月が旬である。

（収穫量全国2位）



ねぎ

山武（さんむ）市、柏市、松戸市、横芝光（よこしばひかり）町などが主産地で、12月から2月が旬である。

（収穫量全国1位）



日本なし

県内の火山灰土壌が梨の栽培に向いていることや消費地に近いことから、栽培が盛んである。東南アジアなどへの輸出が進んでいる。

（収穫量全国2位）



さやいんげん

袖ヶ浦（そでがうら）市、香取市などが主産地で、5月が旬である。

（収穫量全国1位）



みつば

旭市、東庄町などが主産地で、ほぼ一年中収穫されている。

（収穫量全国1位）



マッシュルーム

旭市、香取市が主産地で、10cm前後のジャンボマッシュルームの生産も盛んである。

（収穫量全国1位）



すずき類

主に東京湾の船橋市、富津（ふつつ）市で水揚げが盛んで、6月から8月が旬である。

（漁獲量全国1位）



千葉県内の各地域における農林水産物

ベイ・東葛（とうかつ）地域

【農畜産物】ねぎ、日本なし、だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、さやいんげん、えだまめ、かぶ、なす、しゅんぎく、こまつな、みつば、そらまめ、らっかせい、生乳
 【水産物】このしろ、かれい類、すずき類、あさり類、はまぐり類、ホンビノスガイ、のり類

北総地域

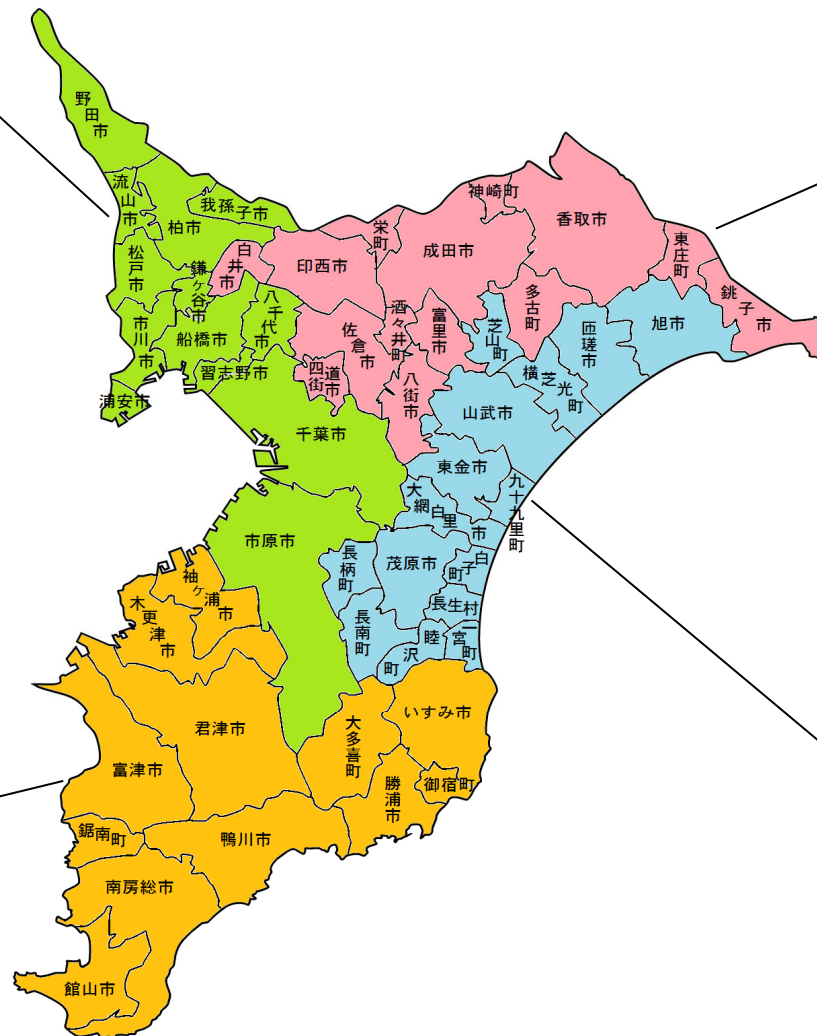
【農畜産物】水稻、かんしょ、日本なし、だいこん、にんじん、トマト、キャベツ、らっかせい、すいか、さといも、かぶ、ばれいしょ、やまのいも、しょうが、メロン、マッシュルーム、ごぼう、みつば、にら、ゆり（切り花類）、観葉植物（鉢ものの類）、れんこん、いちご、豚
 【水産物】まぐろ類、かじき類、いわし類、まあじ、さば類、さんま、ぶり類、ひらめ、かれい類、まだい、きんめだい、いか類

南房総地域

【農畜産物】水稻、いちご、さといも、さやいんげん、レタス、なばな（花を食するもの）、ゆり（切り花類）、カーネーション（切り花類）、そらまめ、ししとう、ストック（切り花類）、びわ、洋ラン（鉢もの）、鶏卵、生乳
 【水産物】かじき類、かつお類、いわし類、まあじ、さば類、ぶり類、ひらめ、たちうお、まだい、すずき類、きんめだい、いせえび、あわび類、さざえ、あさり類、いか類、まだこ、のり類

九十九里地域

【農畜産物】水稻、ねぎ、だいこん、にんじん、トマト、キャベツ、きゅうり、いちご、すいか、さといも、スイートコーン、メロン、レタス、しゅんぎく、洋ラン類（鉢ものの類）、かぼちゃ、みつば、パセリ、にら、ゆり（切り花類）、そらまめ、庭園樹苗木、ししとう、れんこん、たまねぎ、豚
 【水産物】いわし類、まあじ、さば類、ぶり類、ひらめ、はまぐり類



千葉県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は12万3,500haで、全国第9位。内訳は、田が7万3,000haで第11位、畑が5万500haで第7位となっている。
- ・農業経営体数は3万5,420経営体で、全国第6位。
- ・基幹的農業従事者数は5万328人で、全国第6位。

耕地面積

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
耕地面積	123,500 ha	4,372,000 ha	9
田	73,000 ha	2,379,000 ha	11
畑	50,500 ha	1,993,000 ha	7
普通畑	47,000 ha	1,130,000 ha	4
樹園地	3,060 ha	268,100 ha	26
牧草地	425 ha	595,100 ha	25
参考) 総土地面積	515,750 ha	37,797,561 ha	28

出典:「令和2年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
農業経営体数	35,420 経営体	1,075,705 経営体	6
法人経営体	895 経営体	30,707 経営体	6
総農家数	50,826 戸	1,747,079 戸	8
販売農家	34,261 戸	1,027,892 戸	6
参考) 世帯総数	2,609,132 世帯	53,448,685 世帯	6
集落営農数	85 集落営農	14,832 集落営農	37

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和2年2月1日現在)」

荒廃農地面積

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	13,120 ha	283,536 ha	5

出典:「令和元年の都道府県別の荒廃農地面積」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	50,328 人	1,363,038 人	6
男	29,581 人	822,144 人	7
女	20,747 人	540,894 人	7
65歳以上	33,728 人	948,621 人	5
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	67.0 %	69.6 %	-
認定農業者数	6,463 経営体	233,806 経営体	14
法人数	719 法人	26,080 法人	7
参考) 総人口数	6,222,666 人	127,094,745 人	6

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

担い手への農地の集積状況

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	31,439 ha	2,508,560 ha	19
集積率	25.2 %	57.1 %	37

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和元年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和元年3月末の数値である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

千葉県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は3,859億円で、全国第4位。内訳は野菜が1,305億円、畜産が1,248億円、米が689億円、いも類が207億円、花きが174億円となっている。
- ・農畜産物の生産状況は、らっかせい、マッシュルーム、かぶ、みつば、さやいんげん、ねぎ等が全国第1位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の販売金額が443億4,600万円。事業体数は1,480事業体で全国第1位。

農業産出額

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
農業産出額	3,859 億円	89,387 億円	4
米	689 億円	17,484 億円	8
麦類	x 億円	543 億円	-
雑穀	1 億円	110 億円	19
豆類	73 億円	773 億円	2
いも類	207 億円	2,007 億円	4
野菜	1,305 億円	21,515 億円	3
果実	114 億円	8,399 億円	19
花き	174 億円	3,264 億円	2
工芸農作物	6 億円	1,699 億円	23
その他作物	x 億円	718 億円	-
畜産	1,248 億円	32,344 億円	5
肉用牛	100 億円	7,482 億円	20
乳用牛	269 億円	9,353 億円	4
生乳	226 億円	7,629 億円	5
豚	442 億円	6,122 億円	4
鶏	425 億円	8,647 億円	5
鶏卵	326 億円	4,595 億円	2
ブロイラー	52 億円	3,510 億円	16 *
その他畜産物	12 億円	740 億円	7
加工農産物	2 億円	530 億円	22

出典：「令和元年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	千 葉 県	全 国	全国順位
らっかせい	収穫量	R2	11,000 t	13,200 t	1
マッシュルーム	収穫量	H30	2,670 t	6,527 t	1 *
かぶ	収穫量	元	30,400 t	112,600 t	1
みつば	収穫量	元	2,720 t	14,000 t	1
さやいんげん	収穫量	元	6,030 t	38,300 t	1
ほうれんそう	収穫量	元	18,800 t	217,800 t	3
ねぎ	収穫量	元	64,300 t	465,300 t	1
日本なし	収穫量	元	19,300 t	209,700 t	2
なばな（主として花を食するもの）	収穫量	H30	1,946 t	4,343 t	1 *
鶏卵	生産量	R2	156,998 t	2,632,882 t	3

出典：「作物統計」、「地域特産野菜生産状況」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産物流通統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分		千 葉 県	全 国	全国順位
農産物直売所	総額	44,346 百万円	1,053,366 百万円	4
	事業体数	1,480 事業体	23,650 事業体	1
観光農園	総額	2,044 百万円	35,943 百万円	5
	経営体数	310 経営体	5,290 経営体	3
農家レストラン	総額	883 百万円	35,696 百万円	13 *
	事業体数	40 事業体	1,360 事業体	6 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

千葉県林業

- ・林業産出額は23億円で、全国第38位。内訳は、栽培きのこ類生産が16億9,000万円で73%、木材生産が5億8,000万円で25%である。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が9万2,000m³で全国第39位。ひらたけが106 tで第6位。
- ・製材工場数は98工場で、全国第21位。

林野面積

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
林野面積	160,891 ha	24,770,166 ha	40
国有林	7,589 ha	7,153,338 ha	43
民有林	153,302 ha	17,616,828 ha	40
人工林面積	61,416 ha	10,203,842 ha	40

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

林業経営体数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
林業経営体数	199 経営体	34,001 経営体	38
法人経営体	14 経営体	4,093 経営体	45

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
林業産出額	23.0 億円	4,549.2 億円	38
木材生産	5.8 億円	2,294.0 億円	41
栽培きのこ類生産	16.9 億円	2,170.2 億円	24

出典：「令和元年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
素材生産量	92 千m³	21,883 千m³	39
針葉樹	70 千m³	19,876 千m³	40
あかまつ・くろまつ	1 千m³	601 千m³	27
広葉樹	22 千m³	2,007 千m³	21
ひらたけ	生産量 106 t	3,862 t	6 *
竹炭	生産量 5 t	447 t	6 *
たけのこ	生産量 311 t	22,285 t	12
生しいたけ	生産量 2,082 t	71,071 t	13
なめこ	生産量 58 t	23,285 t	19 *

出典：「令和元年木材統計」、「令和元年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
工場数	98 工場	4,382 工場	21
製材用素材の入荷があった工場数	95 工場	4,340 工場	21
国産材のみ	83 工場	3,358 工場	18
国産材と輸入材	8 工場	771 工場	33

出典：「令和元年木材統計」

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

千葉県漁業

- ・海面漁業・養殖業産出額は236億円で、全国第18位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業・養殖業生産量が11万6,915 t で全国第9位。内水面漁業・養殖業生産量が138 t で第30位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が、10億7,900万円で全国第11位。事業体数は、20事業体で第13位。

漁船隻数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,084 隻	132,201 隻	17
動力漁船	1,180 隻	69,920 隻	23

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,796 経営体	79,067 経営体	18
内水面漁業経営体数	101 経営体	4,772 経営体	14

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,678 人	151,701 人	15
男	3,378 人	134,186 人	15
女	300 人	17,515 人	16

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	236 億円	13,484 億円	18

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	116,915 t	4,143,433 t	9 *
海面漁業漁獲量	111,213 t	3,228,206 t	7
すずき類	1,353 t	5,919 t	1
このしろ	1,838 t	4,935 t	1
海面養殖業収穫量	5,702 t	915,228 t	22 *
くろのり	5,207 t	241,726 t	9 *
内水面漁業・養殖業生産量	138 t	52,875 t	30 *
内水面漁業漁獲量	49 t	21,767 t	24 *
ふな	21 t	423 t	3 *
内水面養殖業収穫量	89 t	31,108 t	26 *
あゆ	39 t	4,089 t	11 *

出典：「令和元年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	千 葉 県	全 国	全国順位
水産加工	2,513 百万円	175,132 百万円	18
事業体数	20 事業体	1,500 事業体	22
水産物直売所	1,079 百万円	36,489 百万円	11 *
事業体数	20 事業体	800 事業体	13 *
漁家レストラン	879 百万円	11,822 百万円	3 *
事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

千葉県 の 農 林 水 産 業 の 話 題 等

ジャンボタニシ被害軽減に向けた取組

スクミリンゴガイ、いわゆるジャンボタニシは、九十九里地域の水田地帯を中心に県内の31市町村まで発生が拡大。ジャンボタニシは、水路でも越冬、増殖し、水流に沿って移動することから、千葉県は、平成30年度及び令和元年度に、水路での貝の駆除や泥上げを地域で共同で行う防除対策のモデル事業を、山武市及び匝瑳市で実施。その結果、水路の貝の生息密度の低下やイネの被害の軽減などの効果が確認された。

令和2年度からは、市町村単位に「地域防除対策協議会」を設置し、「侵入防止対策」「食害防止対策」「越冬防止対策」「水路での貝密度低減対策」を全て組み合わせた取組に対し助成する「ジャンボタニシ緊急防除対策事業」を実施。



重機による水路の泥上げ



食害された水田
(水の深いところに被害が集中する)

コメ新品種「粒すけ」がデビュー

千葉県は、温暖な気候を生かして、首都圏へいち早く届けられる「早場米」が特徴。しかし、県内の作付けの約6割を占める「コシヒカリ」は、稲刈り時期の強風や長雨などで倒れやすく、収穫に手間がかかるなどの課題があった。

このため、県は、食味が良く、栽培しやすい品種の育成を目指して、平成17年から研究に取り組み、主食用米としては平成18年の「ふさがね」以来となる県オリジナル新品種を開発。令和2年秋に「粒すけ」の名称でデビューした。

「粒すけ」の特徴は、大粒でコシヒカリと同等以上の良食味と、魚、肉、寿司、どんぶりなど色々な料理に合うオールマイティな食感。茎が短いので長雨や強風でも倒れにくく、収穫作業が楽になることが期待できる。



コシヒカリと粒すけの倒伏の比較



ロゴマーク

千葉県農林水産業の話題等（２）

千葉県スマート農業推進方針を策定

千葉県内のスマート農業の導入件数は、令和２年９月末時点で494件と着実に増加している一方で、さらなる取組拡大には課題もある。

このため、千葉県は、令和２年12月に「千葉県スマート農業推進方針」を策定。一人でも多くの農業者がスマート農業を実践することを目指して、スマート農業に取り組んでいる認定農業者等の割合（推計値）を24%（令和２年８月末）から80%以上（令和７年度）とする評価指標を設定した。

同方針では、水稻、施設野菜など17種類の農業経営について、スマート農業技術を取り入れた将来像を提示。目標実現に向けて、①新技術の開発・実用化、②技術の実証、③新技術の導入・普及定着、並行して④農業者の理解促進に基づき、施策を展開。圃場整備やハウスの新設、改植（果樹）などを契機としてスマート農業技術の導入を働きかける。また、農協等の関係団体との連携を強化し、適切な役割分担のもとで施策を推進する。

棚田地域の保全に向けた取組

千葉県は、房総半島南部の嶺岡山系を中心に棚田地域を有しており、古くから良質米の産地として知られている。しかし、人口減少や高齢化、鳥獣による農作物及び生活被害が増加するなど多くの課題を抱えており、棚田の荒廃が懸念されている。

鴨川市の大山千枚田は、ＮＰＯ法人が中心となり棚田オーナー制度を通じた棚田の保全活動、景観を活かしたライトアップ、小学生の体験学習の受け入れ、棚田米を活用したレストランの運営など様々な活動を展開しており、棚田が地域振興の核となる可能性を有している。

このため、千葉県では、令和２年３月に棚田地域振興計画を策定、棚田が有する多面的機能の維持・発揮を図り、都心から近く国際空港も有する特徴を活かした都市農村交流、観光等の取組を促進することで、棚田を核とした地域の振興を図る取組を実施中。

令和２年５月には、指定棚田地域として、鴨川市の大山千枚田（９ha）川代棚田（19ha）が指定された。



導入効果が期待されるスマート農業機器の例（出典：千葉県スマート農業推進方針）



川代 柿の木代棚田



保全活動(大山千枚田)